

特集1 観光で南島原をもっと元気に！

全国・海外に注目される農林漁業体験民泊！

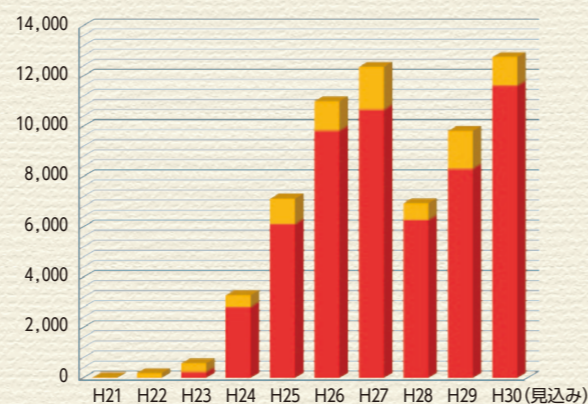


市では、地域の特徴を生かした農林漁業体験民泊事業に平成21年度から取り組んでいます。

利用者は、これまで平成27年度に12,388人(うち修学旅行生10,678人)で過去最高の受け入れを行いました。その後、熊本地震の影響もあり、一時的に利用客の落ち込みはあったものの、昨年度は9,836人(うち修学旅行生8,327人)まで回復しています。

また、今年度は現段階で関西・関東を中心に51校、約11,600人の修学旅行生が利用を予定されており、4月19日から受け入れがスタートしました。春の修学旅行で利用校の傾向を見てみると、約7割の学校がリピーターであり、南島原のファンが着実に増えてきています。その理由は、田舎らしい豊かな自然環境、その環境を活かした農林漁業体験ができること、そして、何より温かい受入家庭の人たちとのふれあいによる感動に出会えることではないかと考えられます。

また、この民泊事業をきっかけに海外から台湾・韓国・中国のお客さんを中心に徐々に増加しています。この海外からのお客さんは、昨年からは学生の利用が多くなっており、地元の小・中・高校生との学校交流を行うなど民泊の受入家庭だけではなく、地元の子どもたちにも国際交流の場を与えるなど交流の輪を広げています。



地域をあげて おもてなし



4月から修学旅行による民泊の利用が始まり、皆さんの近所でも大型バスや修学旅行生を目にすることが多くなると思います。

民泊だけではなく、九州オルレや、今夏には原城跡が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として世界遺産に登録される予定です。世界遺産に登録されると、観光で南島原を訪れるお客が増えることが予想されます。

民泊や原城跡周辺だけでなく、例えば他の観光施設やコンビニ、スーパー、ガソリンスタンドなどを利用される機会が増えると思います。笑顔であいさつをしたり、写真撮影のお手伝い、簡単な道案内など、人が温かい南島原で地域をあげてお迎えできれば、きっとまた南島原を訪れていただけたと思います。どのようなことでも構いませんので、あなたにできる『おもてなし』で観光客をお迎えしましょう！

あなたも民泊を始めてみませんか？

現在、175軒の受け入れ家庭がありますが、年々利用者数が増加していく中、さらに南島原のファンを増やすためには、まだまだ受入家庭が不足しています。

ぜひあなたも、地域を元気にし、自分自身も元気をもらえる農林漁業体験民泊を始めてみませんか。

ちょっと話だけでも聞いてみたいという人も大歓迎です。興味がある人はお気軽にお問合せください。

図商工観光課 ☎73-6632 または (一社)南島原ひまわり観光協会 ☎65-6333



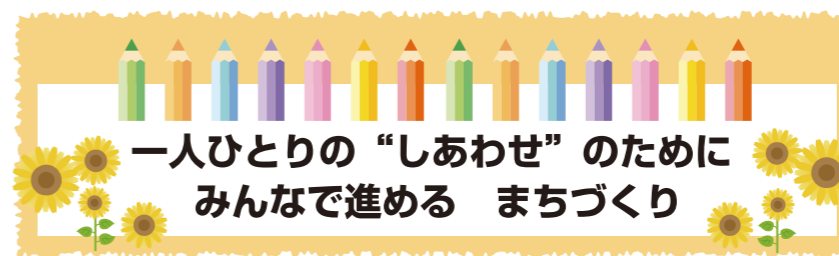
一人ひとりの“しあわせ”のために ～「第Ⅱ期南島原市総合計画」を策定～

南島原市では、平成20年度に第Ⅰ期の総合計画を策定し、さまざまな取り組みを行ってまいりましたが、今回、これまでの成果を踏まえながら、次の10年に向け、さらなるステップアップの指針として第Ⅱ期の総合計画を策定しました。基本構想では、まちづくりの基本理念と将来像を次のとおり定めました。

その他、総合計画には、将来像の実現のために実施する重点プロジェクトや各種施策、指標(数値目標)、市民や地域に期待する役割などを記載しています。

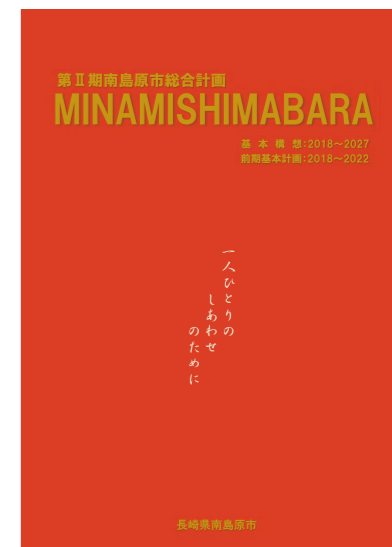
総合計画は、市ホームページに掲載しているほか、各図書館にも配置していますので、ご覧ください。みんなで“しあわせ”のカたちをつくっていきましょう。

基本理念



将来像

これからも 住み続けたい 住んでみたいまち
みなみしまばら



CONTENTS



「第Ⅱ期南島原市総合計画」を策定	2	教えて！国民年金	13
観光で南島原をもっと元気に！	3	第13回 南島原市綱引き大会出場者募集	21
「全国・海外に注目される農林漁業体験民泊！」		くらしの情報	22～24
南島原市新規採用職員など紹介	4～5	島原半島ユネスコ世界ジオパーク	25
まちの話題	6～9	南島原市図書館だより	26
南島原から世界遺産を	10	国際交流員・消費生活センター	27
平成30年度 納税カレンダー	11	保健事業のご案内	28～29
南島原にゆーす	12～21	市民カレンダー	30